

契約電力を変更(減少)する場合
電気使用申込書

東北電力株式会社 御中

20XX年XX月XX日

記入例

契約電力500kW未満(実量制)における
契約電力変更(減少)は、協議により契約
電力(実量協議)を定めます。

住所 宮城県仙台市青葉区001丁目0番0号
名称 0000株式会社
代表者 代表取締役社長 00 00



貴社の電気標準約款、電気供給実施要綱、下記「東北電力からのお知らせ」および需要場所を供給区域とする一般送配電事業者または配電事業者が定める託送供給等約款およびその他の供給条件等における需要者に関する事項を遵守することを承諾のうえ、以下のとおり電気の使用を申込みます。

需要場所	〒 XXX - XXXX 宮城県仙台市青葉区001丁目0番0号		
申込内容	<input type="checkbox"/> 新設 <input checked="" type="checkbox"/> 契約電力変更 <input type="checkbox"/> 契約種別変更 <input type="checkbox"/> その他 ()		
契約種別	業務用電力 至近の契約電力を記入してください。		
契約電力	現在契約 kW 245	今回申込 kW 205	増減 kW -40
その他の契約条件			
使用開始希望日	20XX年XX月XX日	業種・用途(製品名)	テナントビル
契約使用期間	月 日から 月 日まで	契約使用時間	時~ 時
需給地点(財産分界点)	<input type="checkbox"/> 新設・変更 () <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし		
保安責任分界点	<input type="checkbox"/> 新設・変更 () <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし		
電気方式	交流3相3線式	受電電圧 6 k V	周波数 50 ヘルツ
本社住所	宮城県仙台市青葉区001丁目0番0号		TEL XXX-XXX-XXXX
連絡者	設備部 課長 00 00		TEL XXX-XXX-XXXX
料金のご請求先名義	0000株式会社		
料金のお支払方法	<input type="checkbox"/> 口座振替 <input type="checkbox"/> 契約振込 <input checked="" type="checkbox"/> 変更無し		
料金ご請求先住所	〒 XXX - XXXX 宮城県仙台市青葉区001丁目0番0号		TEL XXX-XXX-XXXX
ご使用量のお知らせ(※)	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する		<input type="checkbox"/> 希望しない
	自動検針移行時の配信方法	<input checked="" type="checkbox"/> メール	アドレス 000000000@0000.co.jp
		<input type="checkbox"/> FAX	番号
電気主任技術者	宛名 0000株式会社	部署名 設備部 課長	担当者 00 00
電気工事会社	会社名	株式会社0000	TEL XXX-XXX-XXXX
	住所	宮城県仙台市青葉区001丁目0番0号	
	担当者	工事部 00 00	TEL XXX-XXX-XXXX
廃止取次ぎ	<input type="checkbox"/> 希望する	契約番号	
		供給地点特定番号	
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 単線結線図 <input type="checkbox"/> 使用区域平面図 <input type="checkbox"/> 負荷設備一覧 <input checked="" type="checkbox"/> 受電設備一覧 <input type="checkbox"/> 高調波流出計算書		
備考	(お申込み内容、増減理由等) 空調設備撤去にともなう契約電力変更(減少)		

※お知らせをご希望されない場合は、ご請求内訳書で使用電力量等を確認することが可能です。

「東北電力からのお知らせ」

- ・ご記入いただきましたお客さまの個人情報につきましては、電気事業をはじめとする当社定款記載の事業の適切な遂行のために必要な範囲で利用いたします。
- ・個人情報の利用目的につきましては、当社ホームページ(<https://www.tohoku-epco.co.jp/>)でも確認いただくことができますので、あわせてご覧ください。

使用開始希望日以降1年間の電力使用計画

使用開始希望日 2022/4/1

色付け箇所のみ入力をお願いいたします。

開始月	月別	区分	最大電力 kW	電力量 10 ³ kWh	負荷率 %
●	4	受電	205	80	54
		自家補			
		合成	205	80	54
	5	受電	205	81	53
		自家補			
		合成		81	53
	6	受電		80	54
		自家補			
		合成		80	54
	7	受電		95	62
		自家補			
		合成	205	95	62
	8	受電	205	96	63
		自家補			
		合成	205	96	63
	9	受電	205	88	60
		自家補			
		合成	205	88	60
	10	受電	205	85	56
		自家補			
		合成	205	85	56
	11	受電	205	85	58
		自家補			
		合成	205	85	58
	12	受電	205	90	59
		自家補			
		合成	205	90	59
	1	受電	205	91	60
		自家補			
		合成	205	91	60
	2	受電	205	93	68
		自家補			
		合成	205	93	68
	3	受電	205	87	57
		自家補			
		合成	205	87	57
計		受電	205	1,051	59
		自家補			
		合成	205	1,051	59

◆月間負荷率の求め方

$$\frac{\text{その月の使用電力量(kWh)}}{\text{契約電力(kW)} \times \text{暦日数} \times 24}$$

◆年間負荷率の求め方

$$\frac{\text{年間使用電力量(kWh)}}{\text{契約電力(kW)} \times 365 \text{日} \times 24}$$

契約電力算出根拠

契約電力 × 減少後の契約負荷設備容量 ÷ 減少前の契約負荷設備容量
= 245kW × 281.950kW ÷ 337.600kW = 204.61kW ≒ 205kW

- (注) 1 自家発補給電力をご契約されているお客さまは、自家補の最大電力、電力量もあわせてご記入ください。
- 2 「特別高圧」、「高圧500kW以上」、「高圧500kW未満で実量協議減」に該当されるお客さまは契約電力算定根拠をご記入ください。
- 3 新設のお申込みで負荷設備電力および受電設備電力が50kW未満で高圧供給を希望されるお客さまは、契約電力算定根拠に適用希望理由をご記入ください。

《留意事項》

- ・受電設備および発電設備と単線結線図の記載内容の相違が散見されております。申込前にご確認ください
- ・300kVAを超える受電設備を新增設または同容量更新する場合、励磁突入電流関係資料(対策資料や特性曲線等)のご提出をお願いいたします。
- ・受電電圧と同位の電圧でご使用される負荷設備についても記載が必要です。
- ・2次側が受電電圧と同位の電圧の変圧器、2次側に負荷設備が直接接続されていない変圧器、スコット結線変圧器、予備設備であることが明らかな変圧器は記載対象外です。
- ・結線方法が「V-V」(V結線)の場合、「◆V結線群容量計算」で値を算定のうえ、合計容量に記載をお願いいたします。

記入例

色付け箇所のみ入力をお願いいたします。

2. 受電設備

用途	相	電圧(V/V)	容量(kVA)	結線	台数		合計容量(kVA)		
					変更前	変更後	変更前	変更後	
受電設備に変更がない場合									
変圧器	三	6000/210	300	Y-Δ	1	1	300	300	
受電設備を減設する場合									
変圧器	三	6000/210	300	Y-Δ	1	1	300	300	
変圧器	単	6000/210-105	100	--Z	1	0	100	0	
異容量の受電設備を更新(入れ替え)する場合									
変圧器	三	6000/210	300	Δ-Δ	1	0	300	0	
変圧器	三	6000/210	200	Δ-Δ	0	1	0	200	
同容量の受電設備を更新(入れ替え)する場合									
変圧器	三	6000/210	300	Δ-Δ	1	0	300	0	
変圧器	三	6000/210	300	Δ-Δ	0	1	0	300	
合計									
受電設備電力(kW)									

3. 自家用発電設備

発電機種類	電圧	運転形態	容量(kVA)	力率(%)	台数		変更前出力(kW)	変更後出力(kW)	連系の有無
					変更前	変更後			
1. ディーゼル・ガソリン	高圧	非常用	50	80	1	1	40	40	無
2. ガスタービン	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
3. 蒸気タービン	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
4. 水力	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
5. 太陽電池	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
6. 蓄電池	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
7. その他()	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
合計							40	40	

◆V結線群容量計算 A=電灯電力用変圧器容量 B=電力用変圧器容量

変圧器容量(kVA)	その変圧器に接続される単相負荷設備の有無	単相負荷設備容量(kW)	総負荷設備容量(kW)	群容量(kVA)
A				
B				
備考				

容量(kvar)	台数	
	変更前	変更後
コンデンサ 150	1	1

4. 連絡体制(特別高圧で新規に受電のお客さま、または内容に変更がある場合に記入ください。)

連絡窓口	部署	電話	FAX	E-mail
給電連絡				
	一般連絡			
給電連絡				
	一般連絡			

◆計算式

(1) V結線(同容量変圧器)の場合

① その変圧器に単相負荷設備の接続がない場合
 群容量 = A × 2 × 0.866 = ※小数点以下第一位四捨五入

② その変圧器に単相負荷設備の接続がある場合
 C = A × 単相負荷設備容量 / 総負荷設備容量 =
 群容量 = (A × 2 - C) × 0.866 + C = ※小数点以下第一位四捨五入

(2) 変則V結線(異容量変圧器)の場合

(A-B) = A - B =
 D = (A + B) × 単相負荷設備容量 / 総負荷設備容量 =

① (大-小)がBを上回る場合
 群容量 = (-) + (× 2 × 0.866) = ※小数点以下第一位四捨五入

② (大-小)がBを下回る場合
 群容量 = (A + B - D) × 0.866 + D = ※小数点以下第一位四捨五入

備考
